

トークで繋ぐ地域医療

# リレートーク relay talk



【第18回】  
島根大学医学部 総合医療学講座  
助教 木島 庸貴 氏



## 地域医療って僻地に尽くす医療のことなんですか？

皆さん、地域医療という言葉にどんなイメージを持っていますか？ 離島や中山間地域といった僻地で提供される医療を想像される方が多いのではないのでしょうか。新専門医制度における専門医の1つとして位置づけられる総合診療専門医の分野は総合診療、家庭医療といった呼称がありますが、community medicineと呼ぶ国もあります。総合診療において地域とは僻地ではなく、人の集まりというcommunityを意味します。医療機関の中で医師が関わる問題は、地域の健康問題のごく一部です。自分自身が関わる地域の特性やニーズを理解し、その地域にいる人々と繋がり、行動できる医師が、都会でも田舎でも求められています。またそういった経験は医師としての視野を広げ、大きな成長をもたらしてくれるものでもあります。communityと深く関わる医療の実践を一度味わってみませんか？

島根大学と地域のかげ橋へ

# WE LOVE あいま

vol. 18   
地域医療支援学レター  
2017.1



## 平成28年度 春季地域医療実習告知 (地域医療実習I)



**期間** 平成29年3月6日(月)～10日(金)  
実習期間は上記の内2泊3日～3泊4日

**場所** 松江・雲南・出雲・東大・浜田・益田・隠岐(島後・島前) の島根県内7圏域のうちいずれか

**その他** 3月10日(金)PM報告会開催。その後懇親会あり

詳細は1月頃、学務課よりPRがあります。  
【実習費用】島根大学医学部から各実施地区までの旅費は大学が負担。  
【対象】島根県の地域医療に興味を持つ医学生(大学・出身不問)

もっと知りたい方は島根大学医学部地域医療支援学講座HPへ！  
<http://www.communityshimane.jp/1428.html>

もっと知りたい方は  
島根大学医学部地域医療支援学講座HPへ！  
<http://www.communityshimane.jp/1428.html>

## SCHEDULE 今後の行事予定：1月～3月

- 1/20(金) 18:00～19:30  
地域医療セミナー  
場 所：島根大学医学部みらい棟共通カンファレンスI  
講 師：雲南市立病院  
診療局地域ケア科部長健康管理センター  
副所長 太田 龍一 氏
- 1/29(土) 14:00～17:30  
ブラッシュアップ講習会in出雲  
場 所：島根大学医学部みらい棟4F ギャラクシー  
講 師：筑波大学 地域医療教育学 講師  
吉本 尚 氏
- 2/18(土)  
PTLS(プライマリケア外傷蘇生コース)  
場 所：島根大学医学部附属病院スキルアップセンター及び  
島根大学医学部みらい棟4Fギャラクシー
- 2/24・25(金・土)  
第7回中四国地域医療フォーラム  
場 所：徳島県
- 2/26(日) 14:00～17:30  
第3回若手ジェネラリストFD  
場 所：島根大学医学部みらい棟2F共通カンファレンスI  
講 師：浜田市国民健康保険 波佐診療所  
宮本 雄一 氏
- 3/3(金)  
地域医療教育FD  
場 所：みらい棟4Fギャラクシー  
講 師：自治医科大学 地域医療学センター  
センター長 梶井 英治 氏
- 3/6(月)～3/10(金) 春季地域医療実習  
※3/10(金)14:30～ 春季地域医療実習報告会  
場 所：医学部講義棟国際交流ラウンジ

2月の地域医療セミナー、1月・2月のランチョンセミナーについては  
詳細が決まり次第、facebook・HPでお知らせいたします。お楽しみに！

## 平成28年度 講座配属を実施しました。

活動報告/地域医療支援学講座の主な取り組み報告  
【リレートーク第18回】 島根大学医学部 総合医療学講座 助教 木島 庸貴 氏

編集後記  
明けましておめでとうございます。  
昨年も皆様のご協力のもと、様々な取り組みをさせていただきました。  
今年もどうぞよろしくお願いいたします。

## 島根大学医学部地域医療支援学講座



**地**域医療支援学講座は、「学生や医師が、地域医療に興味を持ち、地域医療へのモチベーションを膨らませながら、医師としてのキャリアアップと県内の医療機関で安心して働ける環境づくりを支援する」ことを目的としております。今回は、学生教育として当講座が行っている、取り組みの一部を紹介します。



## 平成28年度講座配属を実施しました。

【日 時】平成28年9月21日(水)～10月24日(月)  
10月26日(水)～11月21日(月)

【参加者】学生4名

【概要】島根大学では3年次に、医学生自ら希望する講座で研究参加や臨床見学等を行うことができる講座配属を実施しています。今年は4名の医学生を受け入れ、病院前後の救急医療連携や感染症発生時対応について学んだり、出雲地域の病院連携、病診連携、医療看護連携、医療福祉連携等を知り、それらをより良く推進する医療政策についての理解を深めたりしていただきました。

【実習協力機関】

出雲リハビリテーション病院、在宅診療所いずも、深田医院、訪問看護ステーション、出雲消防本部、出雲保健所、附属病院地域医療連携センター、附属病院ほっとサロン

【学生の声】

「普段の学校の講義ではあまり知らない内容を今回の実習を通して理解することができました」

「医師になったときに、救命救急は非常に大切であり、現在の救命救急のシステムやより効率よく救命救急士と連携していくことを考えなくてはならないと思いました」



▲出雲保健所



▲がん患者さんとの対話

## 地域医療学

今年度から医学科1年生を対象にした地域医療学の授業が開講になりました。

この授業は、地域医療教育学講座 熊倉教授にご協力いただき当講座 谷口先生と共同でコーディネートしています。内容は週替わりで外部講師をお呼びし、10名の先生が地域医療について地理的要因、職種、地域住民・患者目線、行政や社会情勢、公衆衛生等様々な角度からご講義頂きます。講義の最終回では、学生が学んだことに加えて自らの意見をもちより、グループごとの決まったテーマに沿って発表をします。



▲講義の様子



▲講義の様子

## 地域医療実習

島根大学医学部では、学生の長期休暇を利用し、島根県と共催し、地域の医療機関での活動や連携を体験・学習し、地域医療や公衆衛生業務に対する理解を深めることを目的とする春季・夏季地域医療実習を行っています。この実習では県内の各保健所のプログラムに沿い、地域の病院と附属病院や多職種との連携を目的に当たりすることで、学生は様々な経験をえています。

また、3月の春季の地域医療実習の日程が3月6日(月)～3月10日(金)に決定しました。10日には実習報告会も合わせて行う予定です。



▲患者さんへ問診



▲オリエンテーション

## 11/16 「地域医療・災害医療・公衆衛生ジョイントセミナー」を開催しました。



【日 時】11月16日(水)18:00～19:30  
【場 所】医学部みらい棟2F共通カンファレンス1  
【概要】

11月16日(水)に福島県立医科大学医学部 衛生学・予防医学講座 教授 福島哲仁先生をお招きし、ジョイントセミナーを開催しました。『原発事故から5年、福島で生きる』と題し、5年経った今の災害医療・原発事故・震災後の健康問題について、お話を伺いました。

震災直後、テレビではわからない実際の様子や、原発事故後、健康に不安を持つ人々へどのような対応をしてきた

のか、そして福島の震災の経験を教訓に今後、震災医療へどう生かしていくかなどわかりやすくお教えいただきました。

また、本学の環境保健医学講座 教授 神田秀幸先生に、実際に健康相談に来られた方々のエピソードなども交えながら、島根での取り組みについてもお話を伺いました。

福島へ災害医療等の実習に参加した学生の報告、意見交換も積極的に行われ、今、自分にできることや今後に向けての課題など参加された方々も気づきがあったように思います。

## 地域医療セミナー

### 11/17

【日 時】11月17日(木)18:00～19:30  
【場 所】島根大学医学部みらい棟4F  
ギャラクシー

【講師】和足孝之医師(医学部 卒後臨床研修センター 教育専任医師)

【テーマ】地域医療の醍醐味

【概要】

離島・国際医療での地域医療を通して感じた、「医師として一番嬉しかった瞬間」「医師として一番患者さんのことを考えた瞬間」「医師として一番無力さを感じた瞬間」を柱に、地域医療でこそ、医師としての力が付くことを熱く語っていただきました。また、地域医療へ学生が持つ不安についてもひとつひとつ細やかに取り上げ、「すべてを学ぶ姿勢(勇気)があれば、地域医療は一番、学んでいける環境です」と強くエールをいただきました。学生からは「どこにいても学べることはあることがわかりました」「すべて心に響きました」との感想が聞かれました。



### 12/16

【日 時】12月16日(金)18:00～19:30  
【場 所】島根大学医学部講義棟1F  
国際交流ラウンジ

【講師】小川 信医師(奄美大島 大和診療所 所長)

【テーマ】奄美大島での地域医療 ～1600人の村におけるエンドオブライフ・ケア～

【概要】

「奄美大島での地域医療 ～1600人の村におけるエンドオブライフ・ケア～」をテーマにお話をいただきました。先生ご自身の目標として、「満足度×余命＝最大限」という言葉を紹介していただき、離島での地域医療を通して感じた、「どうせ大変な仕事をするなら楽しく！」と日々取り組む姿勢をお教えいただきました。また、診療をするだけでなく、患者さんの日々の生活へも目を向け、家族関係の修復のお手伝い等、医師の仕事の多様性についてもわかりやすくお伝えいただきました。



## 10/29 第12回総合診療ワークショップを開催しました。

【日 時】10月29日(土)13:00～17:00  
【場 所】医学部講義棟1F  
国際交流ラウンジ

【講師】木島庸貴先生(島根大学医学部 総合診療学講座) 他11名

【概要】医学生の1年生から6年生対象に、「総合診療医とは何か」を伝えるワークショップを開催しました。出雲市民病院の先生を中心に2部構成のワークショップで、第1部は上村祐介先生の患者中心の医療技法を使った医療面接、第2部は松本賢治先生の総合診療医のキャリアについてロールプレイングを交えて、とても分かりやすく笑いあふれる和やかなムードの中、あっという間に時間が過ぎていくようでした。

総合診療医として日々頑張っておられる若手医師の先生方と直接話をする貴重な機会となり、学生も総合診療専門医への興味を高められたように感じました。



## ランチョンセミナー

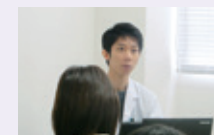
～自分のキャリアプログラムから学生さんに伝えたいこと～

### 10/19

【日 時】10月19日(水)12:00～12:40  
【場 所】島根大学医学部みらい棟2F  
共通カンファレンス1

【講師】有竹 洵氏(神経内科 医科医員)

【概要】「周りと同じことをしても面白くない」との考えを基に、「学生時代には学生の時にしかできない経験をするのが自分にとっては良かった。部活動の『救命救急を全国に広める会』では、県外の医学生と出会うことができ、知り合いを増やすことができた、初期研修先を決めるきっかけにもなった。」と、視野を広く持ち学生時代に色々な経験しておく大切さを面白く学生にお伝えいただきました。



### 11/22

【日 時】11月22日(火)12:00～12:40  
【場 所】島根大学医学部みらい棟2F  
共通カンファレンス1

【講師】中川 優生氏(皮膚科学講座 皮膚科 助教)

【概要】初期研修先の選択について、また、学生時代の時間の使い方をお話いただきました。「医師になってからはとにかく時間がない。学生の時にしかできない余暇の使い方をしておくと良い。自転車に乗って旅をするのも、学生ならではのことができます」と学生時代にしかできないことを、お伝えいただきました。



### 12/8

【日 時】12月8日(木)12:00～12:40  
【場 所】島根大学医学部みらい棟2F  
共通カンファレンス1

【講師】藤原 辰也氏(麻酔科学講座 麻酔科 医科医員)

【概要】感染症をやりたいとの思いで、キャリアプランを設計し、今もまた自分がやりたいものをするための通過点として、日々過ごしているとお話いただきました。ご自身の経験の中から初期研修先を選ぶ時のポイントとして「病院見学」を挙げ、特に「実際に働いている研修医が楽しそうであるかどうか」など具体的に伝えていただきました。



## 12/4 専攻医の集いを開催しました。

【日 時】12月4日(日)  
【場 所】医学部附属病院3F  
だんだん

【概要】島根県内で研修する総合診療・家庭医療の専攻医の先生、また総合診療医を目指す初期研修医の先生、指導医の先生方にお集まりいただき、総合診療専攻医の集いを開催しました。出雲市民病院の高橋賢史先生にコーディネート頂き、ポートフォリオ発表が行われました。

県内の総合診療・家庭医療の専攻医の先生、また総合診療医を目指す初期研修医の先生方が集まれる機会は多くはないため、今後のブラッシュアップのきっかけになったのではないのでしょうか。

